

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成24年度】

(⑤その他の施設)

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	1	施設名	掛川市森の都ならこの里		担当課名	地域支援課
区分			内容・説明			
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市森の都ならこの里条例				
	(2)施設設置目的	健全な余暇の活用を促進し、もって市民の福祉の増進に寄与する。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	総合案内施設1棟、オートキャンプ上100台、バンガロー(6人用)20棟、バンガロー(5人用)8棟、コテージ5棟、共同炊事場4カ所、コインシャワー8基、トイレ5カ所、林間広場9,880㎡、テニスコート2面、釣り堀1カ所、工作室1棟、研修棟1カ所、温泉会館1棟、森林科学館1棟				
	(4)施設建設年度	研修棟 S57 総合案内施設 H6 温泉館 H15				
	(5)耐震性能の有無	有り				
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)	温泉館 ボイラー交換2基		12,000千円		
	(7)指定管理者名	株式会社森の都ならここ				
	(8)指定期間	平成24年 4月 1日 から 平成29年 3月31日 まで				
	(9)施設の管理運営形態	②利用料金制度				
	(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況を3-(3)欄に記入のこと。		
(11)指定事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況を3-(3)欄に記入のこと。			
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務)		<input type="checkbox"/> 提出なし			
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成24年度)			

区分		H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考	
2 利用状況	(施設・設備ごと)	(1)施設利用者数	137,304	138,557	140,373		
		①キャンプ場	43,067	42,593	46,679		
		②温泉館	93,306	95,214	92,924		
		③森林科学館	931	750	770		
	(2)稼働率(利用率)					↓備考欄に算定式を記入してください↓	
	①区画サイト	A平日昼間			6.1%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 1,355人÷238日=5.7人/日 5.7÷92=6.1%
		B平日夜間					
		C土日祝昼間			49.8%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 5356人÷117日=45.8人/日 45.8÷92=49.8%
		D土日祝夜間					
	②フリーサイト	A平日昼間			4.9%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 3,033人÷238日=12.7人/日 12.7÷260=4.9%
		B平日夜間					
C土日祝昼間				30.0%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 9,148人÷117日=78.2人/日 78.2÷260=30.0%	
D土日祝夜間							
③コテージ	A平日昼間			24.1%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 3,442人÷238日=14.5人/日 14.5÷60=24.1%	
	B平日夜間						
	C土日祝昼間			70.6%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 4,959人÷117日=42.4人/日 42.4÷60=70.6%	
	D土日祝夜間						

2 利用状況	(施設・設備ごと)	④バンガロー	A平日昼間			10.1%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 3140人÷238日=13.2人/日 13.2÷131=10.1%
			B平日夜間					
			C土日祝昼間			43.3%		稼働率=年間利用者数÷営業日数÷定員数 6,630人÷117日=56.7人/日 56.7÷131=43.3%
			D土日祝夜間					
		⑤温泉館	A平日昼間			22.0%		43,276人÷223日=194.0人/日、(1回平均利用時間は1時間、11時間で11回転として)、 194.0÷11=17.6人/日/回、 17.6÷80人=22.0%
			B平日夜間					
			C土日祝昼間			47.8%		49,648人÷118日=420.7人/日、(1回平均利用時間は1時間、11時間で11回転として)、 420.7÷11=38.2人/日/回、 38.2÷80人=47.8%
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		481	468	478			
	(3)運営日数		355	355	355	355	温泉館については341日	
	(4)運営人員	①正規職員	3.0	3.0	3.0	3.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	20.0	20.0	18.0	18.0		

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①人件費	46,216,484	45,049,437	47,061,578	47,000,000	
	②印刷費	1,538,113	1,391,922	1,428,765	1,400,000	
	③通信費	873,859	800,264	846,046	800,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	231,499	161,241	145,103	150,000	
	⑤借上料	1,532,477	1,497,976	1,534,427	1,500,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	6,361,920	6,590,730	6,322,264	6,459,400	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	9,306,936	9,306,310	9,815,601	9,500,000	
	計	66,061,288	64,797,880	67,153,784	66,809,400	
	対前年度増減率		△ 1.9	3.6	△ 0.5	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	384,000	384,000	384,000	384,000	
	リース料	384,000	384,000	384,000	384,000	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	4,276,347	2,550,168	4,254,067	4,000,000	
	③光熱水費	11,629,713	13,087,075	14,709,563	15,000,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	3,074,629	3,316,746	2,727,153	3,000,000	
	計	19,364,689	19,337,989	22,074,783	22,384,000	
	対前年度増減率		△ 0.1	14.2	1.4	

(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	85,425,977	84,135,869	89,228,567	89,193,400	
(4)合計のうち運営コストの割合	77.3	77.0	75.3	74.9	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	71,035,388	71,033,888	73,191,214		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	107.5	109.6	109.0		

3 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	0	0	0	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	0	0	0	
収支差額 a) - b)	0	0	0	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	71,035,388	71,033,888	73,191,214	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)	△ 14,390,589	△ 13,101,981	△ 16,037,353	
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)	0	0	0	

(3)指定事業及び自主事業の状況

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	
b) 指定事業の支出	0	0	0	
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) 自主事業の収入	22,286,362	21,226,481	24,417,988	物販売上
d) 自主事業の支出	9,636,101	9,072,657	11,211,396	物販仕入れ、さくらまつり
収支差額 c) - d)	12,650,261	12,153,824	13,206,592	
(雑収入)テナント料収入	2,117,529	3,606,645	3,576,004	施設内食堂のテナント料

4 施設管理所管課(市担当者)としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案(いつから、誰が、何を、どうする)
<p>(1) 施設の収支差額の改善について</p> <p>【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか？ 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金制のため、指定管理料は発生していないが、市が施設修繕費の一部と賃借料を負担している。現状、小規模な工事については、会社側で請け負うことが可能であるが、温泉館のポンプ点検やボイラー交換等の大規模なものに関しては、会社で請け負いきれないため、市の負担となっている。 ・決算については9年連続黒字であり、良好な経営状態であると判断できる。 ・今後施設の修繕や新たな施設の建設等費用がかさむことが想定される。 ・完全独立採算を目標に経営努力をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場施設、温泉設備ともに更新の時期を迎えているため、場当たりの対応にならないよう、優先順位を明確にしながら修繕計画を立てる。 ・営業利益を増やすため、営業活動や施設整備に力を入れる。 ・また、第2次行革プランに沿って、H29年度からの公設民営化に向けて、組織形態や地元への貢献度等、課題を洗い出し、検討会を開催する。
<p>(2) 利用者数の増加について</p> <p>【行革推進係から】 一部の人が使わない割りに、毎年たくさんの指定管理料が支払われていませんか？ より多くの利用者を獲得するために、市としてどんな事業展開を考えますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場については、例年14万人前後で推移しており、広く市民に利用されている他、市外の利用者も第二東名開通の影響で増えている。夏場のシーズンにおいては施設が埋まりきる程の集客があるが、冬場のオフシーズンは集客が悪く、対策が必要である。 ・温泉館については、例年10万人弱で推移しているが、開館10年目を迎え、新たな施設の増設やイベント等の実施が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者拡大のため、年間を通じて幼稚園、小・中学校への営業を引き続き行う。 ・冬場の利用客増のため、夏のシーズン後から秋にかけてイベントを企画し、利用者を増やすよう務める。 ・家族風呂の増築やコテージの増設、森林科学館の活用等、より利用者が魅力を感じる施設を目指すため、検討を行う。 ・周辺施設と連携してツアーやイベントを企画し、地域全体で交流人口の拡大を図る。
<p>(3) 利用者の満足度向上について</p> <p>【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか？ 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査を例年実施しており、満足度や利用者の声の把握に努めている。意見としては、概ね良好であるが、温泉館の施設、設備の規模についての不満が多い。 ・余暇の活動の促進といった意味では、利用していただくことで、大いに貢献できている。 ・イベント内容が同じでマンネリ化が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用者満足度調査を実施し、利用客のニーズを把握し、サービスの向上に努める。いただいた意見については、内容毎に整理し、各担当が状況を把握し、早急に改善できるよう努める。 ・定期的な職員会議を引き続き行い、示達事項の徹底、運営方針の確認、方向性の周知などを図り、よりよいサービスが提供できるよう努める。 ・毎年同様の内容のイベントを実施しているため、魅力ある新たなイベントを企画する。また、温泉館においては、平成25年度9月に開館10周年を迎えるため、イベント・広告に力を入れ、利用者の満足度及び利用者増に努める。

5 その他自由意見

9年連続で黒字決算であり、安定した経営をしていると判断できる。完全独立採算を目指し、引き続き黒字決算となるよう指導する。